

報道関係各位

日本総合研究所との共同研究成果報告会 「Convivial Design Forum -2023 Spring Session-」開催のお知らせ



武蔵野美術大学（所在地：東京都小平市、学長：榊山祐和）が運営するソーシャルクリエイティブ研究所（以下、「ソーシャルクリエイティブ研究所」、所長：若杉浩一）は、株式会社日本総合研究所（本社：東京都品川区、代表取締役社長：谷崎勝教、以下、「日本総研」）との共同研究の成果報告会として「Convivial Design Forum -2023 Spring Session-」（以下「本イベント」）を2023年5月19日に開催します。

イベント概要

ソーシャルクリエイティブ研究所と日本総研は、2022年11月に共同研究拠点「自律協生スタジオ」を開設し、「自律協生社会の実現」に向けた共同研究を行っています。

自律協生社会（Convivial Society）とは、自律的・主体的に生きる個人が、他者や自然やテクノロジーと力を合わせて生きる中で生まれる、生き生きとした喜びに満ちた社会のことです。行政や企業に任せきりにせず、住民達が力を合わせ、自分達の暮らしを自分達で和気藹々と守り育てる社会。業界や世代を超えて人々が連携し、どんな人にも居場所と出番があって、それぞれがそれぞれに本領を発揮して生きる社会。自律協生という言葉に託して、私達はそんな社会の実現を目指しています。

この半年間、私達は、各地でフィールドワークを繰り返しながら、自律協生のデザインを探求してきました。本フォーラムでは、ここまでの研究成果と今後の方向性について報告し、自律協生のデザインの課題と可能性について議論してゆきます。

【本イベントの詳細】

■日時：2023年5月19日（金）18:15～20:00（開場17:45）

■会場：武蔵野美術大学市ヶ谷キャンパス 5階（東京都新宿区市谷田町 1-4）

※オンライン同時配信

■プログラム：

18:15-18:20「武蔵野美術大学の取り組みについて」

河野通義（武蔵野美術大学大学企画グループ研究支援チームリーダー）

18:20-19:10「研究報告・ローカルコレクティブと新たな官民連携・価値共創モデルの探求」

井上岳一（日本総合研究所創発戦略センター エキスパート）

若杉浩一（武蔵野美術大学ソーシャルクリエイティブ研究所所長）

19:10-20:00「共同討議&質疑応答」

モデレーター：若山友佳（日本経済新聞社 編集 生活情報ユニット 生活情報グループ 記者）

井上岳一

若杉浩一

河野通義

■アクセス： JR 中央・総武線「市ヶ谷」駅下車 徒歩3分

東京メトロ有楽町線・南北線「市ヶ谷」駅、都営新宿線「市ヶ谷」駅4番出口下車 徒歩3分

■ご参加をご希望の方の申込方法

本イベントは現地参加（対面）とオンライン視聴の2つのご参加方法がございます。それぞれ下記のURLよりお申し込みください。

● 現地参加（コンヴィヴィアルな交流会あり。6F自律協生スタジオの見学もできます。）

◎ 終了後の交流会に参加される方：一般2000円、学生1000円

◎ 交流会に参加されない方：無料

<https://peatix.com/event/3572727>

● オンライン視聴

◎ 参加費無料

<https://peatix.com/event/3573601>

< 本件に関するお問い合わせ先 >

武蔵野美術大学 ソーシャルクリエイティブ研究所

rcsc_info@musabi.ac.jp /担当：河野、増田